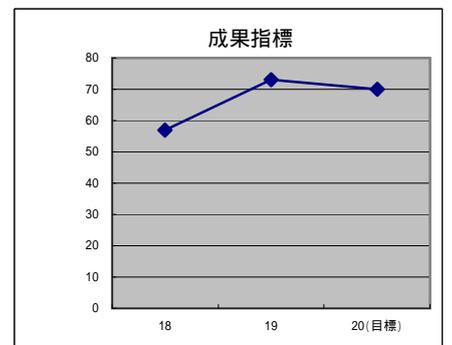
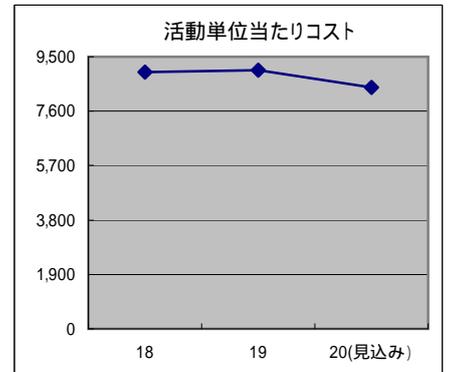


平成 20 年度 事務事業評価シート(平成 19 年度実施事業)

整理番号 保健15

事務事業名		相談・教育事業(成人)		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	2	健康で生き生きと暮らせるやさしいまち		款	4	衛生費	
	施策(節)	1	保健・医療		項	1	保健衛生費	
	施策の方向	(2)	保健事業の推進		目	2	予防費	
	関連する計画等	健康はびきの2 1			事業	5	保健事業	
				作成部署	保健福祉部保険健康室健康増進課			
				連絡先	072 958 1111 内線 5150			
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	40歳以上65歳未満の市民							
事業の内容	意図(どういう状態にしたいのか)							
	生活習慣病予防							
生活習慣病予防(とくに糖尿病予防)をテーマに、医師・保健師・管理栄養士による健康教育(集団を相手に話をする)健康相談(個人を相手に話をする)を実施								
根拠法令等								
事業開始時期		<input checked="" type="checkbox"/> 昭和 <input type="checkbox"/> 平成 57 年 月開始 <input type="checkbox"/> 明確にはわからない			終了年度	平成 年度		
事業開始時からの状況変化								
市民や議会の要望								
実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助金・助成金 <input type="checkbox"/> その他()						
委託先		<input type="checkbox"/> 外郭団体委託	名称			委託内容		
		<input type="checkbox"/> 民間委託						

区分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		927	852	696
人件費【2】 (千円)		10,860	11,100	11,100
職員数	正規職員	1.15 人	1.15 人	1.15 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.50 人	0.60 人	0.60 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費(【1】+【2】)【A】 (千円)		11,787	11,952	11,796
財源内訳	国費 (千円)	397	369	
	府費 (千円)	397	369	636
	市債 (千円)			
	その他(手数料・使用料等) (千円)			
一般財源 (千円)		10,993	11,214	11,160
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
健康教育参加者	人	1,314	1,322	1,400
健康相談参加者	人	896	260	300
活動単位当たりコスト(【A】/【B】)		8,970 円	9,041 円	8,426 円
市民1人当たりコスト(【A】/人口)		98 円	100 円	98 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度		平成19年度		平成20年度
			目標	実績	目標	実績	達成率(%)
健康教育実施回数(回)	(式)		50	57	50	73	146.0%
			100	83	100	37	37.0%
健康相談実施回数(回)	(式)		100	83	100	37	37.0%
			70				

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある		有

視点	分析のためのチェック点	はい			いいえ			該当なし	分析・評価の説明
妥当性	市民ニーズが高い	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	生活習慣病の予防について、正しい知識の普及を図ることで「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高めて健康の保持増進を図ることを目的としている。				
	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	社会情勢の変化に対応している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	国・府の事業と重複していない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	緊急性が認められる	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の保健師・栄養士・看護師で対応している。今後は、実施方法の検討や対象者への通知の工夫をし、希望者が増加した場合、民間活用も検討する。				
	受益者負担の割合は適当である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	人員を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業費を削減する余地がない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	簡略化できる方法や手段がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市の他事業と重複していない	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
有効性	上位の施策(目的)が明確である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の健康管理のため、積極的にとりくむ必要がある。事業を実施することで完結するのではなく、継続して健康づくりにとりくめるような工夫が必要				
	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果を向上させる余地がない	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	市民の視点にたってサービスが提供されている	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民団体との協働事業を実施したり、市民団体の学習会を共同で企画して実施した。今度も市民ニーズにこたえられるような事業を展開できるよう検討する。				
	事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	事業の実施に市民の参加、協力が得られている	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
達成度	成果指標の目標値は適正である	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	一般健康教育と特定保健指導の連携をはかり、それぞれに目標を設定している。				
	成果指標の実績値は目標値以上である	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					
	成果指標は前年度より向上している	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>					

担当 部局 評価	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 民営化・民間委託 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了						
	評価の理由	制度改正に伴い平成20年度より、老人保健事業に基づく事業から、健康増進法及び高齢者の医療確保法にもとづき、一般健康教育と国保加入者への特定保健指導を実施していくこととなる。生活習慣の改善につながる効果的な健康教育内容の確立、保健師等専門職の保健指導技術の向上を図る。						
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)	一般健康教育と特定保健指導の連携を図りながら、生活習慣の改善につながる効果的な健康教育プログラムの検討をすすめる。また、健康はびきの21計画の重点事業としたウォーキングの普及を図る健康教育をすすめる。						